令和２年３月 12 日

社会福祉法人 真昌会　令和２年度目標について

総合高齢者福祉施設 上牧の郷が開設して無事、5 周年を迎えました。

たった 5 年と言えば 5 年とまだまだではありますが、されど 5 年、何とか無事、みんなに支えられ、今日を迎えることが出来ました。今日に至るまで、様々な混乱や困難は多々ありましたが、ある程度の落ち着きを迎えるとともに、高槻市において一つの施設として、存在感を示すまでになったのかと思います。

一つに、地域密着型特養として人気が高く、最も待機者が多い施設の一つになったこと
一つに、グループホームとして人気が高く、最も待機者が多い施設の一つになったこと
一つに、市内唯一の看護小多機として、80％稼働と優良経営を継続しながら存在感を示せていること
一つに、認知デイとして人気が高く、多くの期間において空き待ちの状況であり、全国の認知症イベントであるＲＵＮ伴のオープニングにおいて市の代表として、利用者とともに参加できたこと
一つに、高槻市の福祉施設の代表として、市内のシンポジウムに出演、社会福祉審議会に出席、ＮＨＫの番組に出演していること
一つに、福祉を志す３名もの新卒学生から、当施設を選んでいただいたこと
一つに、介護福祉士養成学校の教員から気に入られ、当施設を新たな実習先に指定していただいたこと
一つに、資金繰りにおいても、年度収支が黒字化されたこと

しかしながら、まだ道半ばでもあります。

当施設を設立する際に掲げた「我が家」、そしてコンセプト

⑴ 利用者様を自分のとても大切な人と位置づける利用者本位のサービス提供
⑵ 地域の一員として地域に愛され地域に必要とされる施設
⑶ 生きがいを発見できる、生きてて良かったと思える施設（ご利用者様、職員他みんな）
⑷ 高槻 No. 1 の明るく元気な施設
⑸ 従来の概念にとらわれない良いと思えることにはなんにでも挑戦できる前向きな施設

これらがどこまでできているかと問うと、出来ている部分もあれば、まだまだの所もたくさんあると言わざるを得ません。

そう考えると、もう一度、当施設のコンセプトに忠実に、どのようにアプローチできるのかを問い、具体的な取り組みを各部門で進めて参ります。